

平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		担当	部課コード	010100	TEL	2998-9027
事業コード	基地対策協議会交付金	担当部課	総合政策部 政策企画課			
010101			グループ	基地対策室		
補助開始年度		昭和	43	年度	→	終了予定年度
		平成		年度		

②事業の内容	根拠法令	所沢市基地対策協議会規約							
	分野別計画・指針								
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第2章 安全・安心で快適な住みよいまち	施策	1節 土地利用	中柱	1 合理的な土地利用の推進	小柱	(4) 基地返還と跡地利用の促進
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
	コード	3621		事務改善活動等の充実・強化		コード			
補助開始の背景	所沢基地の返還について、市全体の機運が高まり、基地全面返還運動市民大行進が昭和42年に実施され、翌昭和43年に市、市議会、市民が一体となって構成される所沢市基地対策協議会が設立された。当時から市の重要施策ということから、協議会設立当初より、市から交付金を支出している。								
補助の目的	①市、市議会、市民が連携し、市の中心部に広大な敷地を占有している米軍所沢通信基地の全面返還の推進を図る。②米軍所沢通信基地に関する諸問題の解決を図る。							団体への加盟数	
団体における実施事業の概要	①政府等関係機関に基地全面返還、また当面の措置として東西連絡道路用地の返還などの要望活動を実施する。②米軍所沢通信基地に関する諸問題について協議するための会議を開催する。③所沢通信基地に関する動向を把握するための情報・資料を収集し、必要に応じて視察を実施する。④「基地全面返還は市民の願い」のスローガン啓発のため、庁舎敷地内の懸垂幕と推進塔を整備する。⑤啓発事業の一環として所沢市民フェスティバルへの参加を行う。							21	単位 人

③経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	補助金支出額当初予算		697	697	663	
	補助額決算 (見込み含む)		697	697		
	臨時職員賃金		人	人		
	正規職員人件費		0.40 人	3,680	0.35 人	3,288
	事業費合計		4,377	3,985		
	市民一人当たり(単位:円)		13.0	11.8		

④指	団体活動実績	項目名	所沢市基地対策協議会開催回数	計算方法	所沢市基地対策協議会を開催した回数	単位	回	H 18	4	H 19	3	H20見込み	4	将来目標	4		
		成果分析	返還面積	米軍接收時の基地面積のうちこれまでに返還された面積	単位	ha	目標値	300.9	300.9	300.9	300.9	実績	203	203	達成率	67.5	67.5
															実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2		1

⑤一次評価	補助金の有効性	評価項目	総合計画への貢献度	<input type="checkbox"/> 貢献度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度貢献している	<input type="checkbox"/> 貢献度は低い	
		成果分析に基づく目的の達成度	<input type="checkbox"/> 達成度は高い	<input type="checkbox"/> ある程度達成している	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度は低い		
		団体活動の自主性	<input type="checkbox"/> 自主性は高い	<input type="checkbox"/> ある程度自主的である	<input checked="" type="checkbox"/> 自主性は低い		
		事業費に占める補助金の割合	<input type="checkbox"/> 81%以上	<input checked="" type="checkbox"/> 61%~80%	<input type="checkbox"/> 41%~60%	<input type="checkbox"/> 21%~40%	<input type="checkbox"/> 20%以下
		活動内容及び会計処理の適切さ	<input type="checkbox"/> 適切である	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が大きい		
		今後の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 増大する	<input type="checkbox"/> 減少する	<input type="checkbox"/> 変わらない		
目標設定	目標項目	所沢市基地対策協議会設立40周年記念事業	達成水準	40周年記念冊子の発刊	時期	20・21年度	
H21予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 終了		
上記評価理由(補助金の有効性及び予算の方向性)	平成15年度から17年度にかけて、国により基地中央部を通る東西連絡道路に係る現地調査が実施されており、また、協議会と市、市議会で東西道路建設用地返還要請を行い、現在は国と米軍との調整(日米合同委員会)が行われている。今後は、道路用地返還の実現に向けての協議を重ねることが予想されるため、当協議会の役割はさらに重要なものとなる。なお、基地を南北に二分する道路であること、最後の返還がされて以来、25年振りの動きであることなどから、国内の米軍基地を有している自治体等からも注目されている。						
評価日	平成20年6月2日	記入者職氏名	基地対策室長 石井 勝彦				

⑥二次評価	次年度見込まれる貢献度	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	評価理由	総合計画上位目標							<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価日	市長マニフェスト							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑦個別計画の方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	施策の体系	施策の方向			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	基本目標				
	主要課題				
施策の方向					